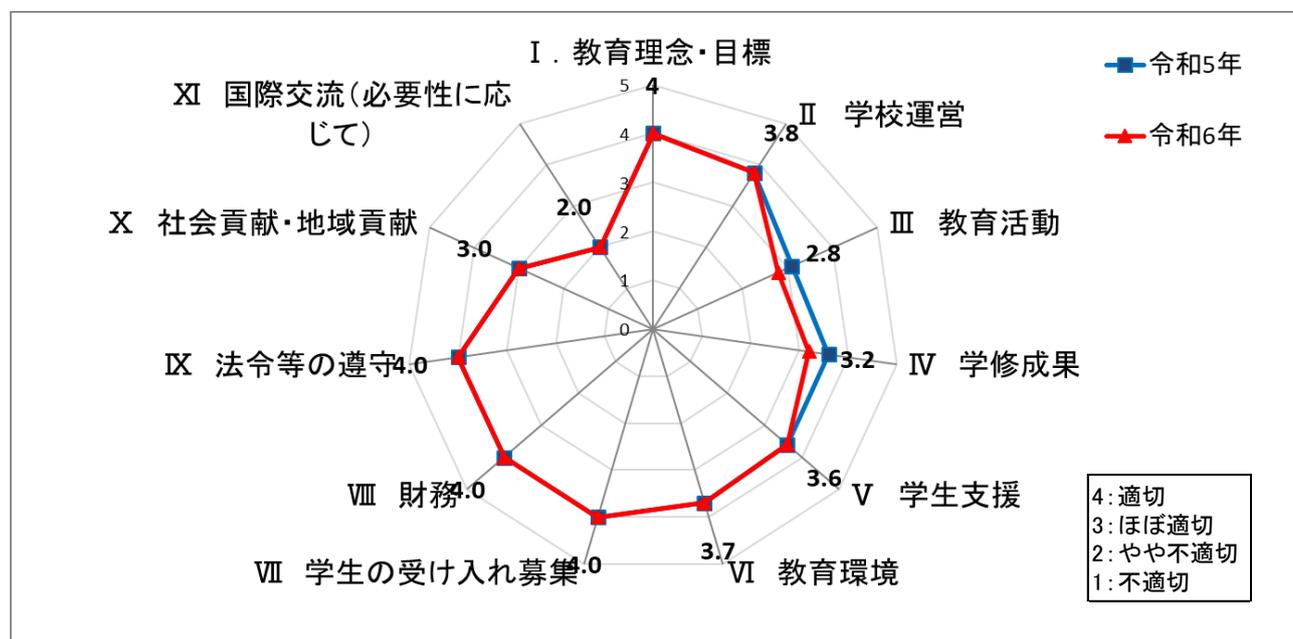


令和6年度 自己点検・自己評価報告

2025年3月25日 現在



I. 教育理念・目標 評価：4 (昨年度：4)

評価基準

- ・理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特徴が明確になっているか）
- ・学校における職業教育の特色は何か
- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

①令和6年度の評価

- ・法人の理念・目的・育成人材像に則り、保健師助産師看護師学校養成所指定規則を遵守しながら適切に運営を行っている。
- ・教科外活動「吉岡彌生記念講演」に1・2年生が参加し、卒業生の体験談やその活動の実際より、社会情勢を知り自身のキャリアなどを考える場を設けている。
- ・各学年で保護者会を開催し、学校の理念から教育内容・学校での様子、卒後のキャリア支援について説明している

②課題

- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想構築

③今後の施策

- ・2025年問題で起こっている看護師不足、ニーズの変化に対応できる教育内容の実施、奨学金制度、社会人の学習支援制度等、学生支援策の拡充を検討する。

II. 学校運営 評価：3.8 (昨年度：3.8)

評価基準

- ・目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ・事業計画に沿った運営方針が策定されているか
- ・営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- ・人事・給与に関する制度は整備されているか
- ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・教育活動等に関する情報公開が適正にされているか
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

①令和6年度の評価

- ・(入試・会議・委員会等) 5つの諸規定を改定し、意思決定システムの整備を行った。
- ・法人の基本方針(教育部門)の重点課題に基づき、学校の事業計画を立案。適切に取り組んでいる。
- ・学生情報・出席状況・成績管理の一元化は定着できた。課題としていた試験に関連する諸業務に関して、システムを活用し効率化も図れてきた。

②課題

- ・ハラスメントに対する対応窓口が不明確
- ・教育活動等に関して、情報公開の頻度が少ない。

③今後の施策

- ・ハラスメント委員会の規程の見直し
- ・SNSなどを駆使しこまめに教育活動の状況を公開できるようにする

Ⅲ 教育活動 評価：3.1 (昨年度：3.1)

評価基準

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- ・教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発 など実施されているか
- ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか
- ・授業評価の実施・評価体制はあるか
- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- ・関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか
- ・関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
- ・職員の能力開発のための研修等が行われているか
- ・教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか
- ・教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか

①令和6年度の評価

- ・カリキュラム会議を発足。課題の抽出と改善に取り組んだ。
- ・大学附属の看護学校ならではのクリティカル分野の強化、再生医療、遺伝子医療など高度な医療に関する講義や、専門・認定看護師による専門性の高い講義も増やしつつある。
- ・教育課程編成委員会で出た臨地実習前における学習不足の意見を活かし、令和7年3月に学習会を企画した。
- ・訪問看護ステーション、地域薬局、リハデザイン会社、地域包括支援センターの方と講義内容を相談・改善しながら実施をしてもらっている。
- ・新しく専任教員を6名迎え、年度途中の2名が退職した。現状12名であり不足している。
- ・全員で教育学会に参加した。授業に係る移植医療やDV被害者支援に関する研修に各々専任教員が参加している。その参加状況について情報を集約し、今後の取り組みに繋げていくことが期待できる。

- ・教育効果を測定するため授業アンケートを専任教員対象に実施したが、評価方法やフィードバックの仕方に課題が残った。

②課題

- ・カリキュラムにおける重複内容、科目進度を把握する
- ・専任教員が不足している
- ・教員研修において、経済的支援が不足している
- ・授業アンケートの評価方法・フィードバック方法が定まっていない

③今後の施策

- ・カリキュラムにおける重複内容の整理、科目進度を調整する
- ・人材募集活動の拡充
- ・教員用研修費の確保
- ・授業アンケートの評価方法・フィードバック方法の検討

IV. 学修成果 評価：3.2 （昨年度：3.6）

評価基準

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・退学率の低減が図られているか
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか
- ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

①令和6年度の評価

- ・昨年度 第113回国家試験合格率は87.1%（全国平均93.2%）と大幅に低下したため、国家試験対策の見直しと学生統率に優れた教員を配置し、本年度の国家試験対策を行った。令和6年度 第114回国家試験合格率は96.2%（全国平均95.9%）と全国平均を若干上回った。
- ・令和5年度退学者計3名に対し、令和6年度は1年生だけで5名。その理由は主に進路変更、体調不良により継続困難 などであり、今後の対策が必要である。
- ・本学附属医療施設への就職者は、実習時に様子を見たり、学校に相談に来る者、Home coming dayに参加する者に限っては現状を把握できるが、卒後暫く経ってからの状況把握はできていない。

②課題

- ・退学率低減のための対策
- ・卒業生の現状把握方法が必要

③今後の施策

- ・ 退学率低減のための対策を検討する
- ・ 看護系同窓会と連携し、卒業生の現状把握方法について検討する

V. 学生支援 評価：3.6 （昨年度：3.6）

評価基準

- ・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ・ 学生相談に関する体制は整備されているか
- ・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ・ 学生の生活環境の支援は行われているか
- ・ 保護者と適切に連携しているか
- ・ 卒業生への支援体制はあるか
- ・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・ 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

①令和6年度の評価

- ・ 1・2年生対象に就職ガイダンスから病院見学やインターンシップへ繋げて実施、個別相談会を定期的に行うなど、積極的な情報開示、就職支援の機会創出を行うことができた。
- ・ 1回/週、公認心理士・臨床心理士による学生相談室を設けているが、ハラスメント相談に関する周知不足が課題となった。
- ・ 各種奨学金、高等教育の修学支援制度の機関確認校となっている。本学独自の奨学金も開始した。
- ・ 子どもをもつ社会人学生向けに足立医療センター第2やよい保育園による「病児保育」を受け入れて貰う体制を整えることができた。

②課題

- ・ 学内就職率の低下（外部就職率の増加）
- ・ 学生健康管理室が本校の外にあり、各学生に必要な感染予防対策の情報伝達が遅延している。

③今後の施策

- ・ 学生のニーズに応じながら、本学医療施設就職に向けた看護の魅力の伝え方を検討する。
- ・ 学生健康管理室との連携強化

VI. 教育環境 評価：3.7 (昨年度：3.7)

評価基準

- ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

①令和6年度の評価

- ・令和5年度に学習机を一新し、声が上がっていた教室内の空調管理問題を足立医療センター施設課と協働し解決することができた。
- ・経年劣化で故障した災害時の拡声器を破棄し、ハンズフリー拡声器を購入した。今後、オープンキャンパスなどで活用することで、経年劣化による故障備品発生を防止する。
- ・防災マニュアル、アクションカードが作成中である。

②課題

- ・防災マニュアル、アクションカードが未完成
- ・新校舎移転に伴う防災備品の更新

③今後の施策

- ・防災マニュアル、アクションカードを完成させる
- ・防災備品のリストを作成し、新校舎に即した備品へ更新する

VII. 学生の受け入れ募集 評価：4.0 (昨年度：4.0)

評価基準

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

①令和6年度の評価

- ・在校生主催のオープンキャンパスを2回/年に増やし、社会人セミナー2回/年、体験授業1回/年、個々のニーズに合わせて随時学校見学会を開催した。
- ・建学の歴史・精神、教育目標、特性、教育内容と進度、奨学金、国家試験結果、就職内容、等の説明が一律でできるようスライドにノートを作成し、担当者を主事、教務主任、業務担当者にすることで、その正確性を確保した。

- ・入学試験ではマークシートを導入し、業務の効率化を図ったが、一方で試験問題準備段階での打ち合わせ不足により当日不適切問題が発覚した。入試委員会にて今後の対策を図り、入試実行业務の軽減する必要がある。

②課題

- ・受験希望者の減少
- ・入試実行业務の軽減

③今後の施策

- ・Instagram、X、公式LINE 導入によるオープンキャンパス参加者の強化
 - ・入学試験実行委員業務の把握
-

VII 財務 評価：4.0 （昨年度：4.0）

評価基準

- ・中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財政について会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

①令和6年度の評価

- ・学校の財務は法人の事業計画に基づき、適切に行われている。

②課題

- ・特になし

③今後の施策

IX. 法令等の遵守 評価：4.0 （昨年度：4.0）

評価基準

- ・法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか
- ・学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか

①令和6年度の評価

- ・法令遵守、専修学校設置基準に沿った運営を行なっている。校内に1か所、意見箱を設置し、本年度は33件（昨年度47件）の意見があり、学生同士のトラブルや、講義資料、備品故障などの要望に対応した。
- ・個人情報に対する学生の認識が薄れつつあり、授業に投影された資料の撮影、臨地実習での不要なスマートフォン持ち込みなどが見られ、対策が必要。

②課題

- ・個人情報保護に対する認識の薄れ

③今後の施策

- ・個人情報保護に対する認識の強化
-

X. 社会貢献・地域貢献 評価：3.0 (昨年度：3.0)

評価基準

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

①令和6年度の評価

- ・足立区「絆のあんしんネットワーク活動」の協力機関となり3年目、学生への活動の趣旨の説明、ポスター掲示、地域清掃、学園祭にて、学んだ血圧測定やBLS(一次救命処置)、妊婦体験、高齢者体験のブースを設け、地域の方にお伝えしている。
- ・病院の防災訓練やクリスマスイベントの実施などボランティア活動を実施。今後全学生の参加を目指し、地域に広げていく。

②課題

- ・ボランティア活動内容が学内に限られている

③今後の施策

- ・ボランティア活動内容の検討

XI. 国際交流(必要性に応じて) 評価：2.0 (昨年度：2.0)

評価基準

- ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか
- ・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

①令和6年度の評価

- ・留学生の受け入れは行っていないが、昨年好評だったアメリカで正看護師(RN)がん認定看護師の卒業生(2期生)が公演を今年も行う予定である。外国看護学生との交流を計画するため、看護学部と計画を検討した。

②課題

- ・外国看護学生との交流が無い。

③今後の施策

- ・看護学部の協力を得て、外国看護学生との交流を計画する。